

令和 4 年度 県立石岡第二高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	・ 8つの重点項目に対して、生徒に寄り添って着実に取り組んでいるため、生徒と保護者双方から高い評価を得られている。 ・ コロナ対策の緩和に伴う各学年の行事・活動を通して、生徒たちの成長を見ることができる。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	・ 指導の工夫による規範意識の醸成がしっかりできている。行事に積極的に参加する生徒の育成もなされており、生徒の実態に即した具体的方策の積み重ねの成果と言える。 ・ 教育活動の分析が詳細に行われており、それが指導に生かされている。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	☒ A 十分把握している B おおむね把握している C あまり把握していない D 把握していない	・ 次年度の課題が明確であるからこそ、自己評価が辛めなのだと思う。さらに高みを目指して取り組んでいこうとする学校の姿勢の表れであると思う。 ・ 新型コロナ対策やICTの活用など、課題を明確にして取り組んでいる様子が見受けられる。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	☒ A 適切である B おおむね適切である C あまり適切でない D 適切でない	・ 昨年の課題について適切に対応していた。地域や保護者にその姿勢が確実に伝わっていると思う。 ・ 探究の時間の取組をさらに工夫して、生徒の自主性をさらに育ててほしい。
5. 学校の設定した三つの方針（スクール・ポリシー）は適切か。	☒ A 適切である B おおむね適切である C あまり適切でない D 適切でない	・ 全学年BYODになることを踏まえ、地域や保護者との連携にICTを活用する方法も研究してほしい。 ・ 授業の工夫による理解力・探究力の向上が実感できる。進路指導の充実も結果に表れている。

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。